

2015年3月期 第1四半期 決算補足資料

1. 決算概観(連結)
2. 業績のポイント
3. 主な子会社の業績と予想
4. 主要製品の状況
5. 開発品一覧

【参考資料】

6. セグメント情報
7. 業績と予想(連結)

2014年7月29日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2015年3月期 第1四半期 決算概観(連結)



(単位:百万円)

	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	15年3月期 第1四半期	前年比	15年3月期 第2四半期 予想	前年比	15年3月期 通期予想	前年比
売上高	24,809	25,422	26,239	26,397	+0.6%	51,300	+0.9%	112,200	+0.7%
営業利益	4,100	4,080	4,465	3,575	-19.9%	5,500	-11.5%	15,800	-10.3%
経常利益	4,300	4,351	4,681	3,847	-17.8%	5,700	-12.7%	16,300	-10.8%
当期純利益	2,697	2,838	2,996	2,681	-10.5%	3,900	-11.3%	11,300	-6.0%

15年3月期 第1四半期 連結業績(実績)

【売上高】

新医薬品事業等の売上は減少したものの、後発医薬品事業の売上が前年度を上回る実績で推移したことから、263億97百万円と前年に対して1億57百万円(前年比0.6%増)の増収となりました。

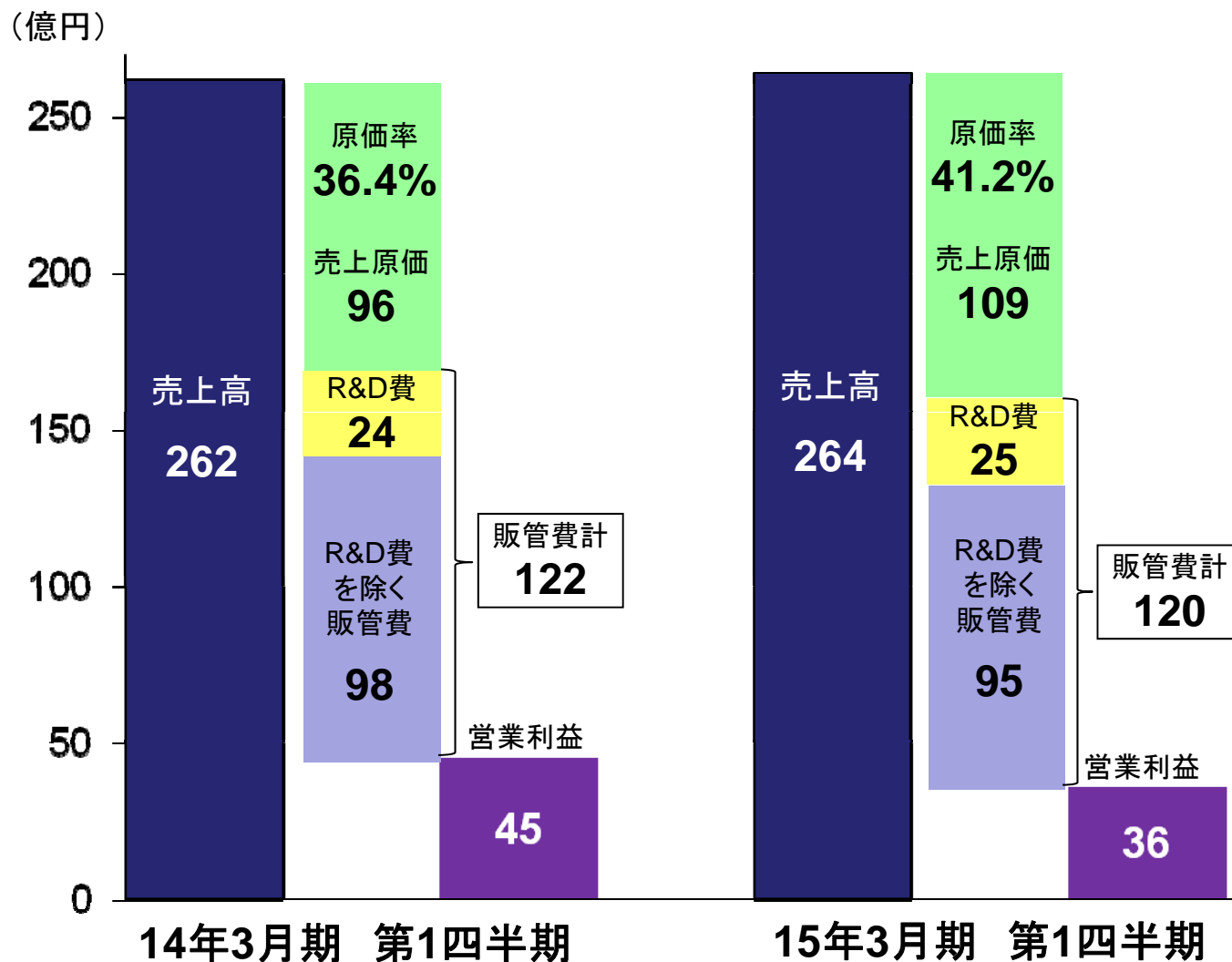
【利益】

薬価改定(業界平均2.65%)の影響、プロダクトミックスの変化等により原価率が上昇し、売上総利益は前年に対して11億48百万円減となり、販売費及び一般管理費(研究開発費含む)は減少したものの、営業利益は35億75百万円(前年比19.9%減)と減益となりました。また、当四半期純利益は26億81百万円(前年比10.5%減)となりました。

15年3月期 連結業績(予想)

2014年5月9日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現段階では変更いたしません。
(第2四半期予想に対する進捗度 売上高:51.5% 営業利益:65.0%)

2015年3月期 第1四半期 業績のポイント



ポイント①

➢売上高は2億円増加

ポイント②

➢売上原価率は4.8ポイント上昇

➢売上原価額は13億円増加

- ・薬価改定の影響
- ・後発医薬品の売上ウェイト上昇
- ・海外新医薬品の売上減少

➢売上総利益は12億円減少

ポイント③

➢販管費は2億円減少

- ・本社移転費用等の減少
- ・R&D費は1億円増加

営業利益は9億円減少

2015年3月期 第1四半期 業績の状況

(単位: 億円)

	14年3月期 第1四半期	15年3月期 第1四半期	対前年
売上高	262	264	+2
医薬品事業	258	261	+3
◆新医薬品	222	212	-10
○国内	216	210	-6
○海外	6	2	-4
◆後発医薬品	27	40	+13
◆一般用医薬品他	9	9	0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	4	3	-1
営業利益	45	36	-9
経常利益	47	38	-9
当四半期純利益	30	27	-3

(対前年)

■売上高	264億円	(+ 2)	
◆医薬品事業	261億円	(+ 3)	
●国内新医薬品	210億円	(- 6)	
	14.3(1Q)	15.3(1Q)	
・キプレス	87	⇒ 91	(+ 4)
・ムコダイン	45	⇒ 34	(-11)
・ペンタサ	47	⇒ 43	(- 4)
・ウリトス	19	⇒ 16	(- 3)
・フルティフォーム	0	⇒ 4	(+ 4)
●海外新医薬品	2億円	(- 4)	
・ガチフロキサシン	5	⇒ 1	(- 4)
●後発医薬品	40億円	(+ 13)	
卸店ルート(保険調剤薬局)の売上増、他社受託ビジネスの拡大			
●一般用医薬品他	9億円	(0)	
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	3億円	(- 1)	
■営業利益	36億円	(- 9)	
◆営業利益率は13.5%と前年比3.5ポイント減少			
●原価率 : 前年比4.8ポイント上昇 (36.4%⇒41.2%)			
薬価改定(杏林製薬:3%台)、後発医薬品の売上増加、ガチフロキサシンの売上減少			
●研究開発費率 : 前年比0.2ポイント上昇 (9.1%⇒9.3%)			
* 1億円増加(24億円⇒25億円)			
●販管費率(除くR&D費) : 前年比1.4ポイント低下 (37.4%⇒36.0%)			
* 3億円減少(98億円⇒95億円) 本社移転費用、特許等使用料、人件費等の減少			
■当四半期純利益	27億円	(- 3)	

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	14年3月期 第1四半期 実績	15年3月期 第1四半期 実績	14年3月期 通期 実績	15年3月期 通期 (予想)
売上高	233	227	977	985
営業利益	41	29	154	143
当期純利益	30	24	108	104

キョーリンリメディオ	14年3月期 第1四半期 実績	15年3月期 第1四半期 実績	14年3月期 通期 実績	15年3月期 通期 (予想)
売上高	29	41	124	132
営業利益	2	6	10	7
当期純利益	1	4	6	5

ドクタープログラム	14年3月期 第1四半期 実績	15年3月期 第1四半期 実績	14年3月期 通期 実績	15年3月期 通期 (予想)
売上高	4	3	18	17
営業利益	1	0	2	0
当期純利益	1	0	2	0

2015年3月期 第1四半期 主要製品の状況

(単位:億円)

製品名		第2四半期		通期		第1四半期(4月～6月)				
		14年3月期 実績	15年3月期 予想	14年3月期 実績	15年3月期 予想	14年3月期 実績	15年3月期 実績	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	171	173	402	403	87	91	+4.5%	52.3%	22.5%
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	82	72	184	160	45	34	-25.3%	46.7%	21.0%
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	94	89	186	175	47	43	-7.5%	48.3%	24.6%
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	37	37	81	82	19	16	-17.8%	43.2%	19.5%
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	15	12	28	25	8	6	-27.6%	46.2%	22.2%
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	8	6	28	—	4	—	55.1%	15.8%
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	10	1	15	5	5	1	-75.6%	80.9%	26.2%
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	10	21	20	5	4	-4.9%	44.7%	22.4%

開発品一覧①(2014年7月29日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2014年3月期 5月9日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
申請 (14年3月)	(欧州) アルミール社 : 上市(12年9月) (米国) フォレスト社 : 上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年8月)	(欧州) アルミール社 : 申請(13年10月) (米国) フォレスト社: 申請準備中	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA:アクリジニウム)と長時間作用性 β 2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	アルミール社とライセンス契約 (11年2月)
※PhⅢ 準備中	(米国、欧州、他) 米国メルク社 : PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱の β_3 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月)

※キプレス(新効能・効果:小児アレルギー性鼻炎、チュアブル錠・細粒)は、PhⅢ臨床試験において期待するプロファイルの達成が出来なかったため、開発を中止し一覧から削除

開発品一覧②(2014年7月29日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2014年3月期 5月9日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (11年8月)	Ph III ムツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ ムツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	ムツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ノバルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II (13年9月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
※Ph II (14年6月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		
Ph I (13年10月)		KRP-EPA605	過活動膀胱	自社	プロスタグランジンEP1受容体拮抗作用を有し、膀胱の排尿筋過活動を抑制することにより頻尿の改善が期待される	キッセイ薬品工業(株)との共同 開発

※遺伝子治療用医薬品「Ad-SGE-REIC製剤」(対象疾病:悪性胸膜中皮腫)を開発(予定)

参考資料

2015年3月期 第1四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	264	+2	36	-9
医薬品事業計	261	+3	35	-8
◆新医薬品	212	-10		
○国内	210	-6		
○海外	2	-4		
◆後発医薬品	40	+13		
◆一般用医薬品他	9	0		
ヘルスケア事業計	3	-1	0	-1
調整額	-	-	1	0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

2015年3月期 第1四半期 業績と予想(連結)



(単位:百万円)

	第2四半期		通期		第1四半期(4月~6月)					
	14年3月期 実績	15年3月期 予想	14年3月期 実績	15年3月期 予想	14年3月期 実績	15年3月期 実績	前年差額	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
売上高	50,851	51,300	111,400	112,200	26,239	26,397	+157	+0.6%	51.5%	23.5%
医薬品事業	50,040	50,600	109,678	110,500	25,801	26,093	+292	+1.1%	51.6%	23.6%
◆新医薬品	42,858	42,100	93,518	93,100	22,215	21,206	-1,008	-4.5%	50.4%	22.8%
○国内	41,697	41,700	91,668	92,100	21,582	20,981	-600	-2.8%	50.3%	22.8%
○海外	1,160	400	1,849	1,000	633	224	-408	-64.5%	56.2%	22.5%
◆後発医薬品	5,184	6,400	11,987	12,700	2,686	3,973	+1,286	+47.9%	62.1%	31.3%
◆一般用医薬品他	1,997	2,100	4,172	4,600	899	913	+14	+1.6%	43.5%	19.9%
ヘルスケア事業	810	700	1,721	1,700	438	303	-134	-30.8%	43.3%	17.8%
営業利益	6,213	5,500	17,607	15,800	4,465	3,575	-889	-19.9%	65.0%	22.6%
経常利益	6,531	5,700	18,281	16,300	4,681	3,847	-834	-17.8%	67.5%	23.6%
当期純利益	4,397	3,900	12,025	11,300	2,996	2,681	-315	-10.5%	68.7%	23.7%